

問 めげせー！交通死亡事故ゼロの街

答 交通弱者対策への取り組み



高橋 八重典 議員 無会派

問 本市の、施策の一つである「安心・安全な街づくり」から交通安全対策で以下問う。

答 保育所・小中学校への対策は。

問 高年齢者への対策は。

答 総務部長 海部南部 高年齢者交通安全総決起大会を実施。

問 自動車運転に対する対策は。

答 蟹江警察署による各種講習会。

問 啓発や対策を効果的にするには。

答 公共施設、駅などで交通安全啓発キャンペーンの実施。



▲県は毎月11日を「横断歩道の日」と指定

問 地区単位で自主防災組織同様に取り組んでは。

答 防災訓練などの際に交通安全について啓発していく。

問 自動車免許返納者の対策を、免許のない後期高齢者まで広げては。

答 介護高齢課長 現在は考えていない。
問 市長総括を。
答 市長 今年度から運転免許証返納者には、タクシーチケットの補助を行うなど、交通弱者の対策について考えて行く。

問	デジタル障害から市民を守れ！
答	デジタル機器、適正利用の啓発



▲スマホ依存に対する啓発ポスター（日本医師会・日本小児科医学会作成）

問 デジタル依存症の把握は。

答 健康推進課長 認識している。

問 小中学生に対しての対策は。

答 教育部長 学校医、保健主事、養護教諭、担任の連携のもと指導。

問 これからの小中学生において、情報社会での教育と対策が必要では。

答 必要と認識。SNSなどの危険性について知識、知恵の習得に努めている。

問 デジタルデトックスを知っているか。

答 健康推進課長 質問を受け、調査し認識。

問 本市は、健康都市宣言をしているので、取り組んでは。

答 すぐ実行可能な取り組みを広報、ホームページや健康教育にて啓発していく。

問 市長総括を。

答 市長 市民に対して、より良いデジタル機器の利用および対応について啓発を続けていく。